

皆実食育だより

平成23年9月



栄養教諭日記

夏休み親子料理教室では、保護者の方が、調理員に広島カレーライスのブラウンのルー作り方を熱心に尋ねられたり、直接感謝の言葉を言われたりと、保護者・児童・給食調理員の交流の機会にもなりました。また、安全でおいしい給食作りに対する保護者の皆様の理解も深まったように感じました。さらに、たくさんの感想をいただいたことで、給食調理員の仕事の励みにもなりました。ありがとうございました。

長い夏休みが終わりました。みなさんは、どのような夏休みの過ごし方をされましたか？本校で行われた食育にかかわる夏休みの取組と、参加者の感想を写真とともに紹介します。

夏休み親子料理教室

7月28日（木）親子料理教室を行いました。メニューは広島カレーライスとフルーツヨーグルトです。今年度は、家庭科室と給食室を使って行いました。衛生上から、普段は給食室に入ることができませんが、夏休み期間中は、施設の点検や清掃等もあるため、給食室に入ることも可能です。そこで、家庭科室では野菜や果物を洗ったり、切ったりする下準備を行い、給食室では回転釜を使い炒めたり、混ぜたりする調理を行いました。



[保護者の感想]

最近、我が子とのコミュニケーションがうまくいってなかったのですが、親子料理教室を通して穏やかに話ができ、また、学校での我が子の様子を見ることができました。

[児童の感想]

他の子のお母さんたちと一緒に料理をすることで、料理のコツを教えてもらい楽しく料理ができました。



[保護者の感想]

給食室内は調理が始まるととても暑く、毎日こんな中で何時間も「子どもたちのため」「おいしくて安全な給食のため」に仕事をされている先生方に改めて感謝の気持ちを強くしました。子どもも「たくさんの人の仕事とたくさんの道具・行程によって給食をいただくことができる」という事を肌で感じたようで、ますます給食が好きになることでしょう。

[児童の感想]

なべの大きさにびっくりしました。作っていたら暑くて、汗がだらだら出てきました。給食の先生は、毎日こんな暑い中でがんばってくれているのがわかりました。みんなががんばって作ったごはんを食べるのが楽しみでたまりませんでした。給食の先生にいつも感謝して食べたいです。

親子わくわく健康教室

8月25日（木）と29日（月）の2日間、南保健センターとの連携事業で、翠町中学校区（皆実・翠町・大河）親子わくわく健康教室（料理教室と運動教室）を行いました。

料理教室では、保護者は保健センター栄養士・保健師からの講義を受け、児童は朝ごはん作りに挑戦しました。品数も多い上に、低学年の参加が多く、時間をオーバーしてしまいましたが、みんな和気あいあいと取り組みました。2日目の運動教室では、健康運動指導士による指導のもと、親子で約2時間心地よく汗を流しました。



[保護者の感想]

- ・ 座学と子どもの実習、両方体験できたので、ためになった。異なる学年、学校の児童とふれあえて楽しそうだった。
- ・ 子どものバタバタ姿に頼もしさを感じた。「まかせる力」「信じる力」大切ですね。
- ・ 他の学校の親子さんと友達になれて良かった。自分はどの料理のどこを担当したとその時の様子を話しながらの試食は楽しかった。

つくってみようよ！自分の朝ごはん

家庭科の学習をしている5・6年生は、より実践力をつけるため、夏休みの課題として「5日間の朝ごはんづくり」にチャレンジしました。

ここでは、2名の朝ごはんメニューを紹介します。「学校へ行こう週間」でも、何人かの朝ごはんを掲示物として紹介する予定です。



6年Hさん

ホットケーキ ビーフシチュー ラズベリージュース

ホットケーキに野菜の飾りつけをするのが楽しかった。

6年Sさん

ごはん のり ぶり 温泉卵 野菜サラダ みそ汁 お茶

魚を焼くのが2回目で慣れてきたけどやっぱりむずかしかった。うまく焼けてとてもうれしかった。

